

アット東京

環境への取り組み

2019

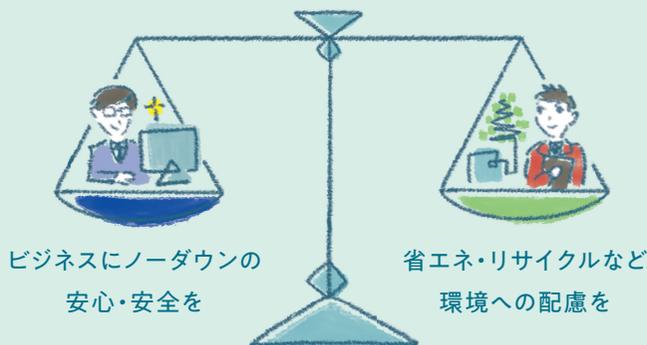




# 安心のうらに、地球への心を。

私たちアット東京のデータセンターは  
サービスレベルを維持し、ノーダウンで運営しながら  
ビジネスの安心・安全をお約束します。

日々大量のエネルギーを消費し、さまざまな設備を運用しながら  
常に環境への高い意識を持ち続けています。



アット東京は、環境配慮型データセンターを目指しています。

## 取り組みが評価され3つのセンターが「優良特定地球温暖化対策事業所」に認定

エネルギーを大量に消費するデータセンターでは、省エネへの取り組みによる環境への配慮は必須です。アット東京は環境へのさまざまな取り組み、特に設備の運用面が高く評価され、2010年に東京都から「優良特定地球温暖化対策事業所<sup>\*</sup>」に認定され、現在は3つのセンターにて認定を受けています。今後も社員の省エネ意識を高め、環境への貢献をいっそう進めてまいります。



Tokyo Cap and Trade Program  
2015-T0506

中央センター(CC1)



Tokyo Cap and Trade Program  
2016-T2008

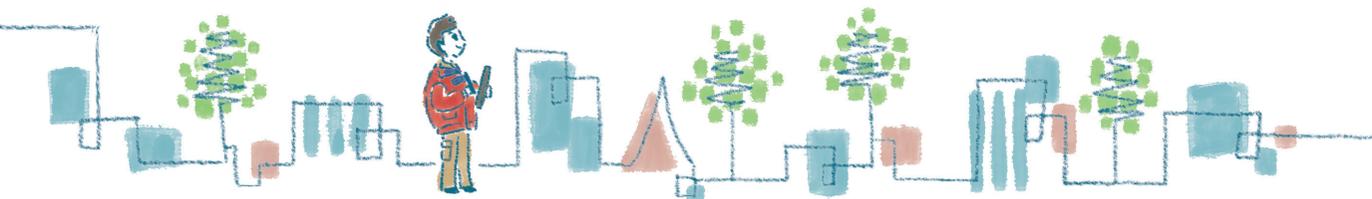
中央第2センター(CC2)



Tokyo Cap and Trade Program  
2017-T1896

第3センター(DC3)

<sup>\*</sup>東京都が「地球温暖化の対策の推進の程度が特に優れた事業所」として認定した事業所。中でも極めて優れた事業所を「トップレベル事業所」と定めています。認定を受けたアット東京の3つのセンターは、すべてトップレベル事業所とされています。



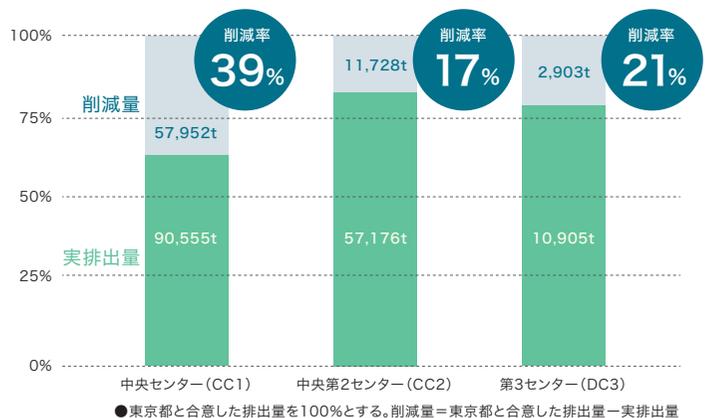
## 数字で見るアット東京の省エネルギー

東京都は、「脱炭素社会」の実現を見据え、2030年までに都内の温室効果ガス排出量を2000年比で30%削減する目標を発表。

アット東京は、東京都の定める温室効果ガスの削減義務\*を達成するだけでなく、さまざまな省エネ対策により、実排出量をできるだけ抑制するようつとめ、環境負荷の低減に貢献しています。

※各事業所ごとに、東京都と合意した温室効果ガスの排出量に対し実排出量を抑えること。実排出量が合意した排出量を下回った場合、削減量の一部をCO<sub>2</sub>削減クレジットとして貯めること（バンキング）ができます。

### 2018年度 特定温室効果ガスの実排出量および削減量



## 廃棄されるはずの冷却水の再利用と環境への配慮

中央センターのサーバー室で発生した熱は、冷却水が冷却塔にて一部蒸発することで処理されます。蒸発により冷却水の含有物の濃度が高くなるため、給排水を行い濃度を調節します。このときに本来廃棄されるはずの冷却水（ブロー水）を高度なる過装置にて再利用することで、水の消費量の削減に取り組んでいます。その成果として、年間で平均39%のブロー水の再利用に成功しました。このほか、データセンターの緑化活動、ソーラーパネルの設置など、環境への対策を積極的に推し進めています。



冷却塔

### 2019年 ブロー水再利用率 平均39%

	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
ブロー水	9,292m <sup>3</sup>	8,619m <sup>3</sup>	8,795m <sup>3</sup>	7,670m <sup>3</sup>
再利用した水	3,435m <sup>3</sup>	3,157m <sup>3</sup>	3,253m <sup>3</sup>	3,416m <sup>3</sup>
再利用率	37%	37%	37%	45%



ソーラーパネル



壁面緑化



東京都からの表彰

### 110,000t -CO<sub>2</sub>の削減クレジットを東京都へ寄付

2019年6月、アット東京がバンキングしていたCO<sub>2</sub>削減クレジットのうち、110,000t -CO<sub>2</sub>を東京都へ寄付しました。アット東京は、東京都が目指す「ゼロエミッション東京\*」への取り組みに賛同し、カーボン・オフセットに協力しています。

※平均気温上昇1.5℃への抑制と、2050年までにCO<sub>2</sub>排出実質ゼロへの貢献を目指す東京都のビジョン。



# INTERVIEW

## アット東京の「環境配慮型データセンター」

### その舞台裏



アット東京は、24×365ノーダウンオペレーションで大手クラウドや国内外の通信事業者などの接続性に優れたデータセンターを運営し、東京都が定める「トップレベル事業所」の認定を、3つのセンターで取得しています。都内で3か所ものデータセンターがトップレベル事業所認定を受けているのはまれ。そこで今回は、認定取得の舞台裏をご紹介します。



#### トップレベル事業所の認定を毎年維持

お客さまは環境への配慮を重要視されており、トップレベル事業所認定は、きちんと環境に配慮しているというエビデンスになります。トップレベル事業所の更新審査は5年ごとにありますが、その評価項目は200項目以上と多く、年々レベルアップし審査は厳しくなるため、日々の活動が重要となってきます。環境に配慮しようという、会社としての確固たる意志と覚悟がないと、取得しても維持し更新していくのは大変なことだと感じています。

技術・サービス本部 設備運用部統合監視グループ グループマネージャー 三井 紀生

#### データセンターにおける省エネの難しさ、そしてやりがい

データセンターの電力消費量は膨大です。そんなデータセンター事業では、なんとといっても「熱源をいかに効率よく使っていくか」そして「いかに効率よく冷たい空気を渡すか」という「空調」が省エネの一番の工夫のしどころです。私どもは、お客さまの資産である機器のエネルギー消費に直接触れることはできませんが、場所を提供している立場として「こういう配列なら省エネになります」など、お客さまに助言をすることもあります。

技術・サービス本部 設備運用部設備運用グループ 主任 長野 真樹



#### 全社の意識統一と地道な活動が大切

インターネットやクラウドコンピュータの日常化により、データセンターの利用は目に見えないところで爆発的に増加しています。当社においては、お客さまの利用拡大により全体の消費エネルギーは増加していますが、気流の管理や冷凍機の効率運転など、運用担当者が地道な省エネ対策を実践し、日々の省エネに取り組んでいます。また設備更新時の廃棄物のリサイクルなども行い、資源の有効活用を通して環境に貢献しています。今後ともアット東京は、お客さまの信頼を得ながら、環境に十分配慮したデータセンター運営を目指していきます。

技術・サービス本部 理事 伊藤 久

アット東京は、これからも省エネルギーや環境に配慮し、さまざまな業界のお客さまの利便性を高め、お客さまにとって価値あるデータセンターとなることを目指します。



株式会社アット東京 <https://www.attokyo.co.jp/>  
東京都江東区豊洲5-6-36 TEL:03-6372-3500 FAX:03-6372-3009 Mail:at-sales@attokyo.co.jp

